

<BCD・脱炭素化推進本委員会報告>

1. 活動概要

本委員会は、2018年に設置し、東日本大震災以降、地震並びに自然災害等への強靱化として、「BCP対応型自立分散エネルギー供給システム」による業務継続地区（BCD）構築実現に向けた検討を推進してきた。本年1月1日発生の能登半島地震により、自立型電源の重要性が再認識され、その意義が確認された。

本年度は、昨年度に引き続き、こうした社会の要望に応えるべく、都市の業務継続街区（BCD）形成とカーボンニュートラル実現にむけて、今日的視点を踏まえて、地域特性等を考慮し2030年、2050年に向けてのロードマップと推進方策と事業実現等に資する検討を行う。

本年度の活動については、6月21日に開催された「BCD脱炭素化推進本委員会（副理事長会議）」にて承認され、具体的な委員会で取組中。

（1）BCD・カーボンハーフ推進委員会

- ① 中央区BCD・カーボンハーフ推進委員会（その3）
- ② 港区BCD・カーボンハーフ推進委員会（その1）
- ③ 豊島区BCD・カーボンハーフ推進委員会（その1）
- ④ 新宿区BCD・カーボンハーフ推進委員会（その3）

（2）BCD・脱炭素化推進委員会

- ⑤ 横浜都心臨海部BCD・脱炭素化推進委員会（その3）
- ⑥ 大阪夢洲地区BCD・脱炭素化推進委員会（その4）
- ⑦ 名古屋市都心部BCD・脱炭素化推進委員会（その1）
- ⑧ 神戸三ノ宮駅周辺BCD・脱炭素化推進委員会（その2）
- ⑨ EXPO'25会場における新エネルギー等導入状況調査委員会（その3）